

別紙

再生紙はがきの販売に関する今後の対応

商品の供給に問題が生じることはお客さまの利便に著しい影響を与えるとともに、環境負荷についても考慮したうえで、以下のとおり今後の販売を行ってまいります。

既に印刷済のはがき (在庫分)	お客さまのご利用上、品質が確保されており、また、環境負荷についても考慮したうえで、在庫分については従来のまま販売を継続します。
これから印刷する はがき	<p>再生紙の定義、基準等に関する関係省庁等の検討を踏まえて、郵便事業(株)においても、古紙配合率ほどの程度が適当か等について、「調査研究会」を設置し検討することとしますが、当面、次のとおり販売します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の仕様変更を行い、はがき用紙の古紙配合率については、「品質確保上問題がない範囲で古紙を極力多く配合する。」旨変更します。 ・ はがきの表示については、「再生紙はがき」及び「再生紙」の表示を削除します。

(参考)再生紙はがきの導入時期及び古紙配合率の状況

商品名	再生紙導入時期	郵便事業(株)指定古紙配合率	実際古紙配合率
寄附金付広告付葉書	平成4年度から	40%	1%～6%
広告付郵便葉書	平成5年度から	40%	1%～5%
かもめーる	平成5年度から	40%	1%～20%
絵入り葉書	平成7年度から	40%	0%
年賀葉書	平成7年度から	40%	0%～20.1%
通常郵便葉書	平成15年度から	40%	0%～5%
往復郵便葉書	平成15年度から	40%	1%～5%